

## 「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	③交通安全対策の推進			
(施策の小項目)	○飲酒運転根絶に向けた社会づくり			
主な取組	交通安全対策・飲酒運転根絶対策事業	実施計画 記載頁	121	
対応する 主な課題	○交通死亡事故に占める飲酒絡みの死亡事故の割合が全国ワースト2位(23年)、人身事故に占める飲酒絡みの事故の割合が全国ワースト1位(23年現在、22年連続)であるなど極めて深刻な状況にある。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	道路における交通の安全と円滑を確保するため、「沖縄県飲酒運転根絶条例」を踏まえた飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚、事業所、飲食店、各地区飲酒運転根絶連絡協議会等との連携、参加体験型の交通安全教育、広報啓発活動等の各種飲酒運転根絶対策の推進、飲酒運転取締りの強化、飲酒運転取締り用資機材の整備に取り組む。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	「沖縄県飲酒運転根絶条例」に基づく県民意識の高揚					→	県
	飲酒運転取締りの強化						
担当部課	警察本部交通部交通企画課、交通指導課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
①交通安全対策費 ②交通指導取締費	①13,401 ②6,266	①12,250 ②6,553	<b>■各種飲酒運転根絶対策</b> ・飲酒運転根絶県民大会の開催(10月) ・「飲酒運転の根絶運動の日」の取組(毎月1日) ・飲酒運転実態(事故、検挙)の公表(3か月毎) ・飲酒運転根絶社員教育リーダー養成講座の開催(12月) ・飲酒疑似体験ゴーグル活用、自動車学校等と連携した参加、体験、実践型飲酒運転根絶教育の推進 ・飲酒運転根絶に関する覚書の締結(10月～12月、沖縄県建設業協会及び同協会八重山支部、石垣市、竹富町、与那国町商工会、沖縄コカ・コーラボトリング、日本郵便の7件と締結) <b>■飲酒運転の取締り並びに取締り資機材の整備及び保守</b>	県単等
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
推進状況	平成25年度取組の効果			
やや遅れ	<b>■各種交通事故抑止対策を推進、飲酒運転取締り及び交通事故に直結する違反の取締りを強化した結果、交通人身事故は6,664件(前年比-33件)と減少しているものの、交通事故死者数は52人(前年比+12人)と増加し、飲酒絡みの人身事故は134件と前年に比べ8件増加、死亡事故は10件で3件増加する等構成率は全国に比べ依然として高い。</b>			

様式1(主な取組)

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
①交通安全対策費 ②交通指導取締費	①18,020 ②6,786	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各種飲酒運転根絶対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「沖縄県飲酒運転根絶条例」を踏まえた飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚</li> <li>・事業所、飲食店、各地区飲酒運転根絶連絡協議会等と連携した取組</li> <li>・参加体験型の交通安全教育、広報啓発活動等の各種飲酒運転根絶対策の推進</li> </ul> </li> <li>■飲酒運転取締り並びに取締り資機材等の整備及び保守</li> </ul>	県単等

(3) これまでの改善案の反映状況

各種交通事故発生状況の分析を基に、早朝における二日酔い運転手に対する取締りや二輪車取締りの日を指定して二輪運転者に対する取締りを強化した。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
交通事故死者数	45人 (H23)	52人 (H25)	39人以下	△7人	4,238人 (H25)
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
交通人身事故発生件数	6,788件 (H23)	6,697件 (H24)	6,664件 (H25)	↘	629,021件 (H25)
状況説明	<p>各種交通事故抑止対策を推進した結果、交通人身事故は6,664件(前年比-33件)と減少しているものの、交通事故死者数は52人(前年比+12人)と増加し、飲酒絡みの人身事故は134件と前年に比べ8件増加、死亡事故は10件で3件増加する等構成率は全国に比べ依然として高い。</p> <p>今後、目標値達成に向け、交通事故に直結する違反の指導取締り強化や、各地域で開催されるイベントでの広報啓発活動、参加・実践型の交通安全教育等の取組を積極的に展開し、目標値の達成を図る。</p>				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・平成25年に発生した交通死亡事故(51件52人)の特徴は、

- 夜間における事故34件(66.7%)
- 飲酒絡みの事故10件(19.6%)
- 週末の死者28人(53.8%)
- 歩行者の死者22人(42.3%)
- 二輪車乗車中の死者18人(34.6%)

であり、これらの分析結果に基づき、交通安全教育や広報啓発活動を実施する必要がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・飲酒運転根絶に向けた県民意識の更なる高揚を図る。

・交通事故発生状況を詳細に分析し、各警察署の実情にあった交通取締りを行い、交通人身事故抑止及び飲酒運転抑止を図る。

4 取組の改善案(Action)

・飲酒運転根絶連絡協議会などの関係機関・団体等との連携を一層緊密にして、各種イベント等と合同による広報啓発活動や交通安全教育等飲酒運転根絶対策を効果的に推進する。

・各警察署管内における各種交通事故発生状況の分析を基に地域の実情に応じた交通指導取締り等の飲酒運転抑止対策を実施する。